

## 個別コンサルティング モデル企業募集（Q & A）

委託を受けていない企業も、モデル事業に手を挙げられるのか。

募集対象は、人材確保育成支援プロジェクトで、事業エントリーした企業となります。（今年4月1日以降に、女性や高齢者などを中途採用した、県内の製造業等を営む事業者が対象）

選考結果はいつ頃になるのか。

応募期間が7月6日から7月20日までのため、7月末頃に選考結果をお伝えする予定です。その後、モデル企業については、8月9日の事前説明会にご出席頂くこととなります。

8月9日の事前説明会については、参加必須なのか。

8月9日の事前説明会は、人材育成について企業が抱える課題をコンサル会社がヒアリングし、今後の支援内容を共有する機会であり、原則、経営層のどなたかのご参加をお願いします。

企業の負担は発生するのか。

コンサル料の負担はありません。ただし、企業の経営層がしっかりと関与し、中途採用者のOJTを行う環境を整えることや、コンサル会社との連絡・調整の窓口を設けて頂く必要があります。

経営層の、具体的なイメージは。

代表取締役や役員、人事部長など、企業の人材育成についての方針にある程度、関与できる役職の方を想定しています。

経営層がしっかりと関与することが要件となっているが、どの程度関与することが求められるのか。

人材育成は経営層の関与が大事であることから、本事業に積極的にコミットいただくために、モデル企業募集については、同要件を設けているところです。

具体的には、経営に関与できる方が少なくとも1名は、8月9日の事前説明会に出席頂き、その後は、状況や所感を共有させて頂いたり、希望に応じて、経営層が気になる点について相談対応するなどを想定しています。

本事業に参加してOJTプランシートの作成から実践、振り返りの一連の流れの回し方を学ぶことでどのようなメリットがあるのか。

例えば、階層別の研修を実施するなど、企業全体としての人材育成計画があったとしても、計画の実現に向けて、各社員が、日々のOJTをしっかりと行えていない場合には、本事業によるOJTプランシートを活用して、意識的・計画的・継続的にOJTを行うことは十分にメリットがあるものと考えております。

具体的には、何をコンサルしてもらえるのか。

具体的には、コンサルタントが個社を訪問し、

- ・OJT振り返り面談の場に同席し、上司の指導方法や双方のコミュニケーションスタイル等に対するアドバイス（セルフチェックシートの提供・活用 等）
- ・職場の協力・巻き込みのための場づくりの支援（職場ミニセミナーや意見交換会の企画・開催、等）
- ・個社の取り組みをOJTに適用するための支援（既存のスキルマップの確認やアレンジの検討支援、等）
- ・経営層（幹部・人事）との現状共有や相談会

など、個社の抱える課題も踏まえながら、OJTの推進から、成果出しをサポートします。

モデル企業となった場合、何を求められるのか。

モデル事業であることから、事業終了後には、OJTにかかる成果などについて、年度末に発表頂き、県内企業への普及を図ることとしています。

対象企業のイメージはどのようなものか。（総務部門がない、小規模な事業所は対象とならないのか。）

対象企業については、

- ・既存の人材育成計画はあるものの、上手く機能しておらず、見直しを考えている企業
- ・現在、計画がなく、手探りで人材育成をしている企業
- ・今後、策定したいと考えている企業 等

人材育成に課題を抱えると考えている企業を想定しています。

なお、総務部門等の人事担当部署がない等、小規模な事業所であっても、企業の経営者など、1名がコンサル会社との連絡・調整の窓口として、しっかり関与頂ければ、対象となります。